



自家組織乳房再建術に用いる体幹・四肢の血管解剖

2013年4月1日から2022年9月30日までに乳がんのために自家組織乳房再建術を受けた患者さん

研究協力のお願い

当科では「自家組織乳房再建術に用いる体幹・四肢の血管解剖」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2013年4月1日より2022年9月30日までに日本医科大学付属病院形成外科・再建外科・美容外科にて、乳がんのために自家組織乳房再建術を受けられた患者さんの血管解剖を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：自家組織乳房再建術に用いる体幹・四肢の血管解剖

研究期間：研究実施許可日～2025年9月30日

研究責任者：日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 小川 令

(2) 研究の意義、目的について

体幹・四肢の血管解剖はまだ明らかになっていない部分があります。自家組織乳房再建では患者さんの脂肪を移動する際には、筋肉内から皮下脂肪に走行する血管の位置や分岐位置が重要になります。今回その血管走行・解剖を明らかにし、それにより手術前の計画を緻密に行うことが可能となり、安全な手術につながると考えられます。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2013年4月1日より2022年9月30日までに日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科にて、自家組織乳房再建術を受けられた患者さんの電子カルテ上で以下の項目を抽出し統計ソフトを用いて血管解剖・手術成績を検討します。
試料：なし

情報：年齢・BMI・既往歴・手術情報（手術方法・手術時間・出血量・皮弁採取量など）・フォローアップ期間・入院日数・術後合併症・造影CT

これらの試料・情報は、セキュリティ管理されたハードディスク上に入力を行い、研究者が管理するサーバーへ電子的に収集されます。本研究の解析の際には新たな研究用の番号を付与した情報として扱います。対照表に関しては日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科医局内にある外部から切り離されたコンピューターのハードディスク内に保管されており、外部に漏洩することの無いように管理されています。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイドダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 形成外科・再建外科・美容外科 大学院教授 小川 令

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：25684

メールアドレス：r.ogawa@nms.ac.jp